

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 高品質馬鈴しょの生産体制の整備  
計画作成主体 : 帯広市農業再生協議会  
対象品目 : 馬鈴しょ (産地面積: 100.0ha)  
主な取組主体 : (株)北菓、(株)A S I R  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)  
状況 : 生産支援事業 (ポテトハvester等)

## ポイント

馬鈴薯集出荷貯蔵施設の整備やコントラクターによる収穫作業受託により労働力不足に対応し、作付面積の拡大、品質向上に取組み、販売額29.5%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H27年度

作付面積 : 43.3ha  
生産量 : 1,540t

目標:H30年度

作付面積 : 100.0ha  
生産量 : 3,558t



## 推進体制

地域の関係者 (帯広市、農業改良普及センター等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

糖分やフライカラーなど、加工後の商品の品質が実需者の求めるものとなるような栽培基準を定め、栽培に取り組んでいる。

貯蔵性の高い品種「きたひめ」等の生産拡大による長期出荷の実現。

これまで廃棄していた規格外品も収穫し、サラダ用として加工することで、収益性の向上を図る。

## 事業効果

馬鈴薯集出荷貯蔵施設の整備により、品質保持と長期保存が可能となり有利販売を促進。

販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、馬鈴しょの産地強化を実現。

~ 10aあたり販売額 ~

